

令和2年度 公民館主催事業計画書

公運審提出日 令和2年10月28日

NO	実施公民館	事業名	事業目的	期間・回数	学習内容	主な講師等
1	柳沢	【共催事業】 下野谷遺跡に学ぶ講座 縄文人の柔軟ライフ ～自然と共存した持続可能な暮らし～	環境の変化に対応した縄文人の柔軟なライフスタイルに視点を置き、地域の財産であり、文化財として史跡に指定された下野谷遺跡を後世に伝えていく大切さを考えるとともに、大きな変化の中にある現在の私たちの暮らしを考える機会を提供する。	令和3年1月13日から 2月10日まで 水曜日 全4回	環境の変化に対応し、自然とバランス良く共存していた縄文人の柔軟なライフスタイルと持続可能な暮らしとの関係性を学び、現代の私たちの暮らしを見つめ直す。また、当時の物をつくる体験を通して、縄文人の知恵と技を学ぶ。	亀田直美（教育部社会教育課職員） 沼上省一（教育部社会教育課文化財保護専門員）
2	田無	防災講座 我が家の行動計画（風水害編）を作ろう！	異常気象により近年多発している風水害、特にコロナ禍での身の守り方について学び、家族に想定される災害を回避する行動計画を立てて、もしもの時に備える。	12月19日 26日 土曜日 全2回	災害支援者から風水害の実態を聞き、事前の準備、発災時の身の守り方、被災後の生活再建を学ぶ。自分に起こりうる災害を想定して「我が家の行動計画（風水害編）」を作成する。	小野修平（ジョージ防災研究所代表）
3	芝久保	防犯講座 心理学から考える特殊詐欺対策	特殊詐欺被害にあう心理的メカニズムや心理的メカニズムを考慮した特殊詐欺対策を学び、特殊詐欺被害の未然防止になるよう防犯意識を向上する機会にする。	12月9日 水曜日	<ul style="list-style-type: none"> ・特殊詐欺の最新の手口 ・特殊詐欺被害にあう心理的メカニズム ・心理的メカニズムを考慮した特殊詐欺対策 	岩田美奈子（一般社団法人シニア消費者見守り倶楽部代表理事、日本心理学会会員）

4	芝久保	グランドピアノお披露目 サロンコンサート 初めまして、これからもよろしく	芝久保公民館にグランドピアノが入ったことを広く市民に周知する。	12月12日 土曜日	ピアノ、バイオリン、ヴィオラ、チェロによるコンサート	西東京ジュニア・ユースオーケストラ（公民館利用団体）団員 大村祥彰、田口雅人 吉田裕美、吉田真莉愛、瀬沼惟文
5	芝久保	多世代交流講座 はじめての手話	公民館を多世代交流の場として活用することを目的に実施する。	12月18日 25日 金曜日 全2回	高齢者や親子、学生などあらゆる世代の参加を見込み、手話の初歩を体験する。聞こえない障がいについて理解を深める。	たんぽぽ手話サークル （芝久保公民館利用団体）
6	芝久保	子ども体験講座 アルキメデスへのとびら ～算数と友だち～	子どもが興味を引く「算数」の問題に触れることで、じっくりと考えることの面白さ、楽しさ、大切さを体験して、興味関心を持ってもらおうと共に、思考力・表現力を養うことをめざす。	12月19日 20日 土曜日 日曜日 3回	子どもたちが興味を持てる問題に楽しんで取り組み、自分の考えを発表する。また、友だちの考えを聞き、比較・検討することで、自分の考えを深める。	友利将吾（私立武蔵高等学校中学校数学科教諭）
7	谷戸	体験講座 真菰を使ってしめ縄を作ろう	自分でしめ縄を作る体験を通して、日本伝統文化に親しむ機会を提供する。	12月18日 金曜日	真菰（まこも）を用いて縄をない、しめ縄を作り、装飾を施してしめ飾りを完成する。また、しめ縄の文化と真菰の特性について学ぶ。	NPO法人「地球と共に生きる会」メンバー 井上美由紀 小松高子

8	保谷駅前	クラフト講座 布と仲良しになろう パッチワーク編	キルトの歴史を学びパッチワークの基礎的な技術を習得し手仕事の楽しみを味わう。	12月10日から 24日まで 木曜日 全3回	<ul style="list-style-type: none"> ・キルトの歴史や配色（色合わせ）などを学ぶ。 ・パッチワーク作成 ・館内にて作品展示 	佐野啓子（斉藤謡子キルトパーティー公認講師）
9	保谷駅前	多文化共生講座 未来をつくる やさしい日本語 ワークショップ	地域では今後多くの外国人を受け入れ、誰もが暮らしやすい地域づくりについて考えることが必要となる。外国人が地域で安心して生活していくために、言葉の配慮が求められる。本講座では、その際のキーワードとなってくる「やさしい日本語」について学び、異なる文化を持つ人々との共生をどのように推進していくのか、地域住民同士考え合うことを目的とする。	令和3年1月24日から 2月14日まで 日曜日 全4回	外国人との共生について考える際に壁となってくる言葉の問題。それをできる限り軽減するために研究された「やさしい日本語」について学び、多文化共生の社会をつくっていくための意識を培う。	<p>岩田一成（聖心女子大学文学部准教授）</p> <p>山屋頼子（NHK NEWS WEB EASY 制作スタッフ）</p> <p>柳田直美（一橋大学国際教育交流センター准教授）</p> <p>木村護郎クリストフ（上智大学外国語学部教授）</p> <p>※NPO法人西東京市多文化共生センター、西東京にほんご教室と連携</p>
10	保谷駅前	幼い子どもと楽しむ講座 ～0歳からのコンサート～	育児や子育てに追われ音楽会などに参加する機会がなかなか作れない市民に、ファミリーで音楽を楽しむ機会を提供する。	令和3年2月7日 日曜日	乳幼児も参加できるコンサート	西原みどり、伊尻由起ほか5人（公民館利用者）